

第40回（令和2年度第1回）米子市男女共同参画推進審議会議事録

開催日時	令和2年7月2日（木） 午後2時30分から3時30分
開催場所	米子市立図書館 2階 第1研修室
出席委員	13人 赤澤委員、石井委員、大羽委員、奥田委員、片岡委員、加藤委員、坂田委員、谷本委員、藤吉委員、美田委員、山本委員、涌嶋委員、和田委員
欠席委員	なし
事務局	八幡総合政策部長、河田男女共同参画推進課長、舟木課長補佐、上村主幹
日 程	1 開会 2 部長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議事 （1）令和元年度男女共同参画推進計画施策の実施状況について （2）その他 5 その他 6 閉会
河田課長	<開会> 交代委員の紹介（米子市小学校校長会の塚田委員から、同じく校長会：弓ヶ浜小学校校長の山本委員に交代） コロナ禍の状況を考慮し、1時間程度の会議といたくご協力願いたい。
八幡部長 片岡会長	<挨拶> <挨拶> 全く予想外のコロナ禍、色々な計画が無効になるという事も予想されるし、実際にイベントなどが延期になっている。また、雇用の問題、特に女性のパートタイム労働ができない等、女性の働き方や生活に影響を与えているといった、新しい問題が出てきていると思う。 あるいはコロナで自粛、ステイホームからDVなどが深刻化したり、いろいろ男女共同参画の視点から新たな課題が噴出しているのではないかと。こういった変化にも対応できるよう、新たな課題についても考えていかななくてはならないと思っている。
各委員・事務局	<自己紹介>
片岡会長	<議事>（1）令和元年度米子市男女共同参画推進計画施策の実施状況について 事前に委員から受付けた質問も含めて、事務局に説明を請う。
上村主幹	<施策実施状況の説明> 全体を通してA、Bの評価が合計76。評価A、Bについては有効的な事

業が実施でき、その結果一定の効果があつたと認識している。

<事前質問の説明>

Q. イベントの内容にあつた対象の年齢層情報は取得しているか。期待した属性の方が来られているか。(藤吉委員)

A. 「年代」等の情報は得ている。当課の事業においては一部を除き、期待する属性の参加だつたと検証している。ただ、講演会全般的に集客に苦慮する実態があるため、自治会研修にあてて、ターゲットを担保する企画も入れている。

Q. 人数や直後のアンケート結果だけを見て評価するのではなく、その後の実践や行動の変化という視点での施策評価にならないだろうか。例えば、職員研修など定期開催によって行動変化を特に促したい企画については、参加者の変化や行動も把握することで評価できないだろうか。(藤吉委員)

A. 委員からいただいた評価判定及び成果に関するご意見を啓発講座等の担当課に情報提供した。評価判定の考え方については、評価基準の在り方も含めて再検討すべき課題であると考えている。各課担当者より、今後の行動変化について記載を求めるアンケートの様式を検討していく意向を確認した。また、職員向けの研修については、その後の行動に変化があつたかを問う方法について検討していく意向を確認した。

Q. 女性の比率が少ない審議会は、元々偏った性別の方が多い職種なのか？どのような審議会の比率が偏っているのか。(谷本委員)

A. 審議会の内、委員数 10 名以上で、女性の登用率が 15%以下の審議会等は、防災会議、米子飛行場周辺地域振興協議会、交通安全対策会議、米子城跡整備検討委員会、漁港管理会、農業委員会の 6 団体。

団体代表者、自治会役員、有識者等に女性が少ないことが登用率の低さに結びついているよう。

今後は、登用率の向上に向けて、女性有識者の情報収集に努めたり、推薦依頼の際に個々の団体に働きかけたりして、女性の推薦を促すことなどを検討していきたい。

Q. 「所属長や職員に対して、基準の遵守の徹底をさらに啓発していく」と、資料にあるが、具体的に教えていただきたい。(谷本委員)

A. 「審議会等委員選任基準」に加え、昨年 7 月に制定した「審議会等への女性委員の登用推進方針」により、充て職や設置要綱の見直し等を通じ努力していく予定。

なお、8 月の本年度の登用率調査結果公表に併せ、「審議会等への女性委員の登用推進方針」を再度全庁へ周知した後、本事務を直接所管する職員課と合同で、直接各課に働きかけを行っていく予定。

Q. 「母子・父子自立支援」に関する相談(資料 P11)で、「相談受付件数」877 件のうち、就労相談は 171 件とあるが、他にはどのような相談があつたのか。(片岡委員)

A. 「母子 父子 寡婦福祉資金」の貸付相談が 294 件。なお住宅に困窮しておられる事案があったりと、約 100 件は生活保護に関する相談に繋がった。そのほかには、養育費に関するもの、家庭紛争に関するもの。

Q. 新型コロナウイルス対策により、相談活動等が一時休止になったが、今後第二波への準備のためWEB会議システムを使った遠隔相談などの考えはないか。(大羽委員)

A. WEB会議システムについては、審議会等の開催において、必要に応じて使用し始めたところで、現在、相談業務での使用はない。

なお、女性相談については、導入について現段階では考えていないが、従来から、メールでの相談は受付けており、踏み込んだ相談に繋がるよう対応している。

片岡会長 今の説明で、事前にご質問された方々は、ご了解いただけたか。(事前の質問提出者了解) また、質問・意見、あるいは今後のための提案・要望があればお出しいただきたい。

大羽委員 基本施策4「保育所・幼稚園等、小中学校での取組」で、男女混合名簿 100% 実施済みとか、5・6年生の男女共家庭科を履修については、10年前から学習指導要領上で位置付けてあるので、わざわざ取組に記載すべきことではないのではないか。

山本委員 混合名簿や家庭科の方も男女でずっとやっていることであり、言われたとおりだと思う。

大羽委員 それで今、新たに何か学校で特に取り組んでいること、例えばLGBTについては、研修などもされているのではないかと思うがいかがか。

山本委員 年間指導計画で人権教育の中に入っている学校もあれば、人権教育を見直す中でそういう視点も入れてやっているところもあり、確実にどこの学校も必ず入っているとは言い難い部分がある。

ただ、PTAなどで意識を持たれ、研修など行われつつある。

子どもたちについては、男の子とか女の子の区別なしに行なっている。

大羽委員 例えばそういうバラつきがある取組のところで、今は半分だが、これを上げるようにするといった記載の仕方が良いのでは、と感じて発言させていただいた。

片岡会長 計画にある具体的な取組欄を受けて各課がこういう記載をしているのだが、十何年も前からやっていることを、昨年度実施として述べるのは少し不思議な感じもする。今後はもう少し新しい取組、どんなことをされたのかというのを中心に書いていただければとお願いできたらと思う。

石井副会長 C評価の基本施策7「審議会等での参画の推進」に本当に力を入れてやっていただきたい。全体上位の職を男性が占めるような現状がずっと続いてきているので、充て職から選出しないといけないのかという事も含めて考えていただきたい。また、女性人材バンクからの推薦について、もう少し色々な分野に増やすことはできないか。登録者の洗い出しでもないが、人材発掘と

というような事も考えていただきたい。

基本施策8「女性の人材育成」で、生涯学習課の婦人会への出席等は取り立てて書くようなことでもない。だから生涯学習課には、今一步踏み込んで、今度は本当に女性の人材育成につながるような動きがしてもらえたらと思った。

八幡部長 進捗状況の取組チェックについては、この会で異議があったということをしっかり考えさせていただき、各部署に徹底していこうと思う。

審議会への参画についてだが、例えば私どもが諮問できる会議体には、選出区分を変えてくれという所まで踏み込んで議論しているが、地元の方々が中心となってされる性格の会議もあり苦慮しているところだ。

最近では、選出に関し市長決裁に行くまでに副市長で止まるので、これを意識してだいぶ見直しができてきたと思うが、引き続き努力していきたい。

人材バンクについて、去年は商工会議所の女性メンバーへの取組をしてみているところだが、さらに頑張っって参りたいと思う。

河田課長 経済界からは商工会議所、他に高専や医大などに声かけさせていただいている。商工会議所の女性会からは数名、人材バンクに登録をいただいたこともあり、全体の登録人数が何年かぶりに増加に転じた。

また、米子飛行場周辺地域振興協議会については、自治会連合会から出てきていただいているが、この度初めて女性が1人入られた。やはり担当部署への声かけが大切と感じたところ。女性活躍加速のための重点方針2020にもあるように、女性の参画は重要な部分なので力を入れていきたい。

片岡会長 言われたからように各課との連携もやはり大事だと思う。実施状況の審議についても、各担当課から一緒に椅子を並べて審議すると、持ち帰りの回答になってしまうような事もなく、この審議会をもっと繋いでいくこともできる。そうなれば実施状況の報告についても、もう少し前向きな記述も出てくるのではと思った。

谷本委員 防災会議について30名中4人が女性という報告があったが、やはりちょっと少ないと思うので、推し進められないか。ずっとこの推移か。

河田課長 このあたりは同じような数字で推移している。

八幡部長 防災会議に限らず、女性比率が低い会議というのは、地区の代表の充て職であったりするので、会長を代表にするこの仕組み自体をなんとか変えられないかと思う。言葉では簡単そうだが、実は抜本的に会のあり方自体を変えることにもなるので、厳しくて色んな議論がある。

結果的にまだまだという部分はある、ご意見もいただいたので今一度チューンアップしていきたい。選任については、職員課の合議に加え、我々も加わってやってみたいと思っている。任期が数年間あるので、直ぐに結果は出ないが、特にここにあがってきている会議については、もう少し抜本的な見直しも含めて考えていきたいと思う。

谷本委員 災害も多い世の中となっている。災害時、多様な人が避難してくる中、女

性としての役割も大きなものになるのではと考えているので、防災会議についてはぜひ推し進めていただきたい。

八幡部長 会長から意見のあったように、来年は主だった所属長をこの会に参加させるので、楽しみにしてほしい。

片岡会長 楽しみにしている。どんどん意見を言っていこう。

石井副会長 会長挨拶の中に、コロナの影響で新しい課題が見えてきたとあった。短時間労働の方とかシングルマザーの問題が浮上したり、ステイホームの影響でのDVが起きたりと考えられる。米子市ではコロナに関しての相談や、10万円の給付金以外の支援策に係る情報は提供されたのか伺う。

八幡部長 きちっと窓口を設けて、感染症の相談、経済対策に係る相談、人権に関する相談に対応している。また、新聞の折込みやホームページ等でも、個別給付にあたる支援策や景気対策にあたる飲食、宿泊に係る施策等をお知らせしている。検証はまだできていないが、国・県と一緒にやっている。人権相談は今のところ1～2件で、家庭内の密に係る相談はない。

河田課長 婦人相談から女性相談に相談窓口の名称を改め、そちらのほうにコロナ禍、DV問題が浮上していると考えられる。日本全国、世界では大変深刻な問題として捉えられている。また米子が今後どうなるかというところも注視していく。

八幡部長 職安の所長である赤澤委員からも、お話を伺いたい。

赤澤委員 新型コロナウイルス感染症の関係で、まず一番に力点を置いているのは雇用の維持というところ。雇用調整助成金というのが雇用の維持をめざした企業に対する助成制度だが、爆発的に増えた4月以降6月末までに、1,600件程度の相談をいただいているところである。雇用維持の企業努力もあってか、解雇・退職勧告に関する相談は若干あるが、次の仕事を求めている相談はそう多くはない。

特徴的に見ると、5月あたりは休業手当だけでは生活が立ち行かないことからダブルワークの、6月に入ると、解雇になってしまったという相談が若干増えつつある。助成金の方も申請をいただいたら鳥取労働局との連携のもと、速やかにお支払いできるようにしたい。

片岡会長 経済の打撃というのは長期化すると思うので、注視していきたい。

コロナ禍、新たな取組のアイデアや意見はないか。イベント・講座の開催も変更になったりすると思うが、工夫などないか。

八幡部長 皆さんにお願いだが、この審議会の場合だけでなく、市政全般にわたり随時、男女共同画推進課に忌憚のない意見をいただきたい。

それと、やはり少し初心に帰ることも必要と思い、来年は各所属長にもこの審議会に参加させることをお約束したので、常日頃からご指導をいただきたく宜しくお願いしたい。

河田課長 この資料を作る過程で、男女共同参画の視点が盛り込まれるべき事業のはずなのに、意識をしていないというような課があった。やはり推進していく

には所属長の意識というのも大事であり、については、この資料の作り方もちょっと工夫していきたいと思った。

重ねてのお願いになるがコロナ禍、事業に対して何かヒントでもいただけたらありがたい。今は、駅前の「こめっ子合掌像」をパープルライトアップして女性への暴力防止のアピールをと考えたり、研修密というところを避けながら、メディアでの発信等々を検討していきたいと思っている。

石井副会長 各職場に労働安全衛生委員会があるが、男女比の均衡について何も出ていない。であるために、一番身近で大事な場面で男女共同参画が成立していないのではないかと感じている。市役所はどんな人で構成され、男女比はどうなっているのか把握しているか。

八幡部長 労働安全衛生委員会については、労働組合の代表と当局の代表が委員を出し合って、職場の巡視をする。

男女比はどちらかに偏っているということはなく、クリアできていると思う。

石井委員 管理職や労働組合の上の人となると、男性に偏ってしまうという傾向があるような気がしていたが、良かった。労働安全委員会については、職場で例えば男女比が同じくらいで、障がいのある方であるとか、色々な立場の人の声が反映されるべき会であると個人的には思っている。

舟木課長補佐 男性の多い職場や、保育所など女性の多い職場があるが、ここ近年は職場遵守を行う職員課から女性職員も一緒に各職場を回っていて、女性の視点も入っているという認識でいる。

片岡会長 ありがとうございます。委員の皆さまには、今日だけが委員ではないので、任期中気づいたことがあれば、いつでも事務局に提案してほしい。

片岡会長 <議事> (2) その他

その他について、あるか。

上村主幹 (男女共同参画推進課 令和元年度事業報告書と令和2年度事業計画書について資料をもとに説明)

片岡課長 事業予定について、質問あるか。

石井副会長 事業を実施したということだけでなく、参加者がどう捉えたか、次の行動に繋げようと思ったかなど、報告にあげてほしい。

上村主幹 次回からはそうする。

片岡会長 <その他>

皆さんから、情報提供や案内があるか。

谷本委員 男女共同参画推進員をしている。県民からの男女共同参画に関する意見等を聞く場なのだが、苦情等なかなか手が挙がらないのが実情で、相談やそういった中にあるような方など、情報があれば、「よりん彩」に届けてほしい。

片岡会長 ありがとうございます。他になければ事務局に返す。

河田課長 <閉会>